

2010（平成22）年度 事業報告

1. 展示事業

（1）常設展示等

展示室A（大阪空襲と人々の生活）、展示室B（15年戦争）、展示室C（平和の希求）、映像コーナー、図書室の運営、定時映画の上映（講堂）

（2）特別展示

① 特別展「写真に見る「戦争」と「平和」 in アフガニスタン」

<趣 旨>

現在、最も世界の注目を集めている戦乱の地、アフガニスタン。その人々の苦悩の表情を西垣敬子氏（宝塚・アフガニスタン友好協会代表）撮影の写真から示し、一方、今から約30年前の平和だった頃のアフガニスタンでの人々の表情を、その当時に撮影された長島義明氏（写真家）の写真から示すことで、「戦争」と「平和」を写真上で比較し、その相違を明らかにすることにより、戦争と平和について一考する機会とした。

<期 間> 2010（平成22）年7月27日（火）～11月23日（祝）

<内 容> 写真・絵・文字パネル（約80点程度）、実物資料（約40点）

<参加者> 30,129人

②特別展「戦争の犠牲となった動物たち」

<趣 旨>

太平洋戦争末期、日本中の動物園は、空襲で檻が破壊されたら危険だという理由で、動物たち（猛獣類）を殺すよう迫られ、天王寺動物園でも1943（昭和18）年9月から翌年3月にかけて26頭の動物が薬殺された。それらの動物は現在、剥製となり残されています。

今回の特別展では、その剥製を展示し、悲劇を伝えるだけでなく、戦争中に人間に使われ犠牲となった軍馬、軍犬などの動物たちも取り上げ、戦争の愚かしさを考える機会とした。

<期 間> 2010（平成22）年12月5日（日）

～2011（平成23）年2月20日（日）

<内 容> 写真・絵・文字パネル（70点）、実物資料（30点）

<参加者> 14,977人

③ 収蔵品展「焦土大阪Ⅱ ～絵が語る大空襲～」

<趣 旨>

太平洋戦争末期、1945（昭和20）年3月13～14日に、米軍のB29爆撃機の大編隊により大阪の中心部は火の海となり、それを皮切りに大阪は幾度も大規模な空襲を受け、焦土と化した。

現在、ピースおおさかが所蔵している絵画のなかには、市民から寄せられた空襲体験画だけでなく、被災後の街が描かれたものも数多くある。今回は「焦土大阪Ⅰ ～写真が語る大空襲」展のなかで写真資料が果たした役割を、絵画資料でもって代え、大阪大空襲の全貌を明らかにした。

<期 間> 2011（平成23）年3月10日（木）～7月10日（日）

<内 容> 写真・絵・文字パネル（約100点）、実物資料（約40点）

<参加者> 20,598人

(3) その他の展示

- ① 収蔵品展示
- ② 講堂内展示
 - ・「昭和の子どもたち」（内藤磯美）
- ③ C展示室「世界は今コーナー」
 - ・ガザ紛争

2. 企画事業

(1) 平和祈念事業

① 8・15終戦の日平和祈念事業

① 「講演会と歌で検証する戦争と平和」

・日 時 2010（平成22）年 8月7日（土）
午後2時～4時

・内 容

ナビゲーター もす唱平（ピースおおさか理事）

第1部 講演会「日韓併合100年、東アジアの平和を考
える ～金大中の遺したもの」（波佐場清）

第2部 歌：高橋樺子 ピアノ：田中裕子

（イムジン河・イバルの橋・母さん生きてほか）

・参加者 300人

② 「玉音放送と学童疎開」

・日 時 2010（平成22）年 8月15日（日）
午後2時～4時

- ・内 容
 - 第1部 講演「玉音放送について」(福山琢磨)
 - 第2部 映画「ボクちゃんの戦場」(奥田継夫解説)
- ・参加者 300人

②12・8開戦の日平和祈念事業

「戦争と動物園 ～平和といのちの大切さ」(スライドと解説)

- ・日 時 2010(平成22)年12月5日(日)
午後2時～4時
- ・内 容
 - 第1部：講演「戦時下の動物園」(高橋正憲)
 - 第2部：講演「動物と人間」(高橋正憲)
- ・参加者 106人

③3・13大阪大空襲平和祈念事業

① 「講演会と歌で検証する戦争と平和」

- ・日 時 2011(平成23)年3月12日(土)
午後2時～4時30分
- ・内 容
 - ナビゲーター もず唱平(ピースおおさか理事)
 - 第1部：講演会「見よ この沖縄の現実を
～戦争はつづいている」(金城 馨)
 - 第2部 歌：キム・ランヒ、高橋樺子 ピアノ：田中裕子
- ・<参加者> 280人

② 「大阪大空襲と幻の卒業式」

- ・日 時 2011(平成23)年3月13日(日)
午後2時～4時
- ・内 容
 - 第1部「証言ビデオ」上映とトーク(矢野 宏 他)
 - 第2部「66年目の卒業式」の挙行(山田紗耶加 他)
- ・<参加者> 271人

(2) 教員のための平和学習講座

- ・日 時 2010(平成22)年8月6日(金)
午後2時～4時30分

- ・内 容 講義とフィールドワーク
(ピースおおさかの館内及び大阪城周辺の戦跡)
- ・参 加 者 12人

(3) 戦跡ウォーク

- ・日 時 毎月第2日曜日
- ・内 容 大阪城周辺に残る戦跡をめぐる3コース
(中回り・東回り・西回り)
- ・参 加 者 171人(但し9回、5月実施。6月は雨天中止 3月は別途企画事業)

(4) ウィークエンド・シネマ

- ・日 時 毎週土曜日(午後2時～)
- ・参 加 者 2,865人(49回)

(5) 夏休み子ども映画祭り

- ・日 時 8月(毎週火～金曜日)(午後2時～)
- ・内 容 戦争童話集(野坂昭如4作品)
- ・参 加 者 328人(16回)

(6) 冬休み子ども映画祭り

- ・日 時 1月5日～7日(午後2時～)
- ・内 容 戦争童話集(野坂昭如4作品)
- ・参 加 者 25人(3回)

(7) 「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」

- ・パネル展示 2010(平成22)年12月10日(金)～16日(木)(講堂前)
- ・映 画 会 ①アニメ「めぐみ」②「めぐみー引き裂かれた家族の30年」
12月11日(土)午後2時～
<参加者> 64人

(8) 平和紙芝居

- ・日 時 第1土曜日(13:00～13:20)
第2木曜日(10:00～10:20)
第3金曜日(13:30～13:50)
- ・参 加 者 800人(27回)

3. その他の事業

- (1) ユナイテッド・アースフェスティバル（於 万博記念公園）出張展示
 - ・2010（平成22）年10月9日（土）～10日（日）10：00～16：30
 - ・参加者数 5,000人
- (2) ハートフルおおさか2010（於 ATC）出張展示
 - ・2010（平成22）年11月6日（土）～7日（日）10：00～17：00
 - ・参加者数 62,000人
- (3) 新規グッズ製作
 - ・写真集「写真で見る 大阪空襲」
 - ・絵本「昭和の子どもたち」
 - ・ポストカード（3枚1組）

4. 資料の収集・提供

(1) 資料の収集

実物資料、視聴覚資料、図書資料等の寄贈を受け、また新規に購入することにより、整備、充実を図った。

《資料収集件数》 2010（平成22）年度

	寄贈資料	購入資料
実物資料	59	0
視聴覚資料	11	30
文書資料	5	0
図書資料	117	38
計	192件	68件

(2) 平和学習資料の貸出

学校、官公署、平和運動団体等の団体に対し、写真パネル（体験画を含む）、16ミリ映画フィルム、ビデオ、DVD、紙芝居の貸出を行った。

《資料貸出件数》

	小学校	中学校	高校	自治体	その他	計
写真パネル(体験画含む)	18	5	3	34	20	80
16ミリ(アニメ)	0	4	0	2	2	8
16ミリ(ドキュメント)	0	0	2	0	0	2
ビデオ	59	25	7	14	24	129
DVD	40	37	3	8	26	114
紙芝居	5	0	0	2	6	13
合計	122	71	15	60	78	346

《利用人数》90,087人（貸出資料による学習会・パネル展の参加延人数）

（3）収蔵品管理システムによる収蔵品の管理と情報提供

収蔵品管理システムにより収蔵品の登録・管理を行うとともに、3階映像コーナーと図書室内設置の端末機により、収蔵品データを情報提供した。

《収蔵品管理システム登録資料件数》

資 料 区 分			登録件数	
イ 図書資料	書 籍	市 販 図 書	27,453	
		自 費 出 版 書 籍	1,287	
		官 公 庁 発 行 図 書	477	
		教 科 書	334	
		国 際 機 関 等 刊 行 図 書	10	
		目 録	269	
		そ の 他	178	
	逐 次 刊 行 物	1091		
	新 聞	79		
	軍 関 係 図 書	303		
	そ の 他	1,046		
小 計	32,527			
ロ 文書資料	軍 関 係	公 文 書 ・ 公 的 文 書	516	
		文 書	143	
	国 民 生 活 関 係	公 文 書 ・ 公 的 文 書	454	
		私 文 書	115	
	平 和 活 動	公 文 書 ・ 公 的 文 書	6	
		私 文 書	20	
	ス ク ラ ッ プ	62		
小 計	1,316			
ハ 視聴覚資料	視 覚	写 真 類	741	
		書 画 類	728	
	視 聴 覚	2,370		
	音 声	127		
	テ ー タ	10		
	そ の 他	3		
	小 計	3,979		
二 実物資料	戦争関係	日 本 関 係	軍 関 係	1,727

			国民生活(国内)	1,140	
			国民生活(国外)	90	
		外国関係	軍関係	85	
			国民生活	36	
		戦災資料	20		
		平和に関する資料	15		
		模	型	21	
		そ	の	他	59
		小	計	3,193	
	合			計	41,015

4. 広報・啓発

(1) 広報活動の充実

①ホームページの運営

「ピースおおさかホームページ」により施設利用案内や事業等の情報提供と大阪府・市等の関係機関や日本平和博物館会議へのリンク

・アクセス数：51,858回

・国別内訳：日本(50,757) アメリカ(189) 韓国(103) オーストラリア(57) 中国(54) シンガポール(43) イギリス(34) ドイツ(25) マレーシア(9) ほか

※参考〔外国人入館者上位国は韓国、中国、アメリカ、オーストラリア、シンガポールの順〕

<入館者推移>

H20：937人、H21：1,712人、H22：2,583人

①-2 貸出し資料の画像掲載(HP)

①-3 ブログ(ピースDIARY)の開設

②府内市町村への情報提供

- ・公民館・社会教育センター・図書館・教育委員会
- ・府内小・中・高等学校、各支援学校(大阪市含む)

③チラシの配布先の拡大

【大阪市商店会】

- ・全区理事会、各区理事会

- 【大阪市老人会】
 - ・各区の老人会（区老連）

- 【大阪府】
 - ・大阪府教職員組合、府立学校人権教育研究会

- 【地下鉄利用者】
 - ・ピース専用掲示ブース設置（常設 5 駅）
 - ・「沿線ガイド」（車内）
 - ・人権コーナー（全駅 ポスター）

④外国人観光客への広報活動

- ・西成簡易宿泊所、大阪観光ボランティア協会、大阪水上バス、大阪城「ロードトレイン」との連携

（2）印刷物の作成・配布

- ① リーフレット「展示のしおり」（日本語版、英語版、中国語版、ハングル版）
- ② 館報「ピースおおさか」（第41号）
（6月1日発行 5,900部 関係機関・団体に配布）

5. 大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場の運営

- （1）空襲死没者名簿の管理
名簿（原簿）登載者数：9,033名
- （2）「刻の庭」の維持管理
ドーム・鐘・植栽等の維持管理。

6. 日本平和博物館会議

- ・日 時 2010（平成22）年11月10日（水）～11日（木）
- ・場 所 神奈川県立地球市民かながわプラザ
- ・内 容 定例会（協議事項・聴取事項）
 - ・巡回展示セットの作成（各館の費用分担）
 - ・加盟各館の協力体制の構築
- ・加盟館 10館
 - ・立命館大学国際平和ミュージアム ・神奈川県立地球市民かながわプラザ
 - ・広島平和記念資料館・長崎原爆資料館・川崎市平和館・埼玉県平和資料館
 - ・沖縄県平和祈念資料館・ひめゆり平和祈念資料館・対馬丸記念館
 - ・ピースおおさか）

7. 「ピースおおさか友の会」入会状況

- ・個人会員 209名

・団体会員 16団体(45口)